

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

本収容定員にかかわる届出は、学科により減少するものと増員するものがあるが、学科間の収容定員の振替が発生しないもので、大学全体の収容定員は減少するものである。

新たな収容定員の設定に際しては、現状の入学者数を根拠としつつ、履修上のコースの再編及びカリキュラムの改革による社会のニーズに適合した教育の実施による需要をも加味して決定した。このことにより、変更後の定員充足が見込まれると考えている。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

定員確保の見通しの根拠とした入学者数の状況は、資料1のとおりである。

入学者数だけを見ると新定員を満たさない状況にある学科も存在するが、下記に示す今後の社会ニーズを取り入れた分かりやすいコース設定の取組み、及びこの取組みを広く広報することで、定員を確保することは十分に可能であると考えている。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

各学部とも、平成29年度からのコースの再編と大幅なカリキュラムの改革を行った。この改革は社会が求めている知識と技術を兼ね備えたもので、社会からの評価の向上を図りながら、その相乗効果で入学者の増加に繋げようとするものである。

また、直接広報として、改組改編資料を高校に持参して、社会ニーズに合ったカリキュラムであることを広く周知することとしている。

以下、各学科、専攻の理念、教育目標は(2)の人材の養成に関する目的その他の教育上の目的(概要)に記載するが、カリキュラム改正の概要は次のとおりである。

(経営情報学部)

先端経営学科は、新たに「デジタルビジネス専攻」を設けることで、あらゆる分野で必要となる経営戦略とITの融合という時代の要請に則した経営学を修得することで、大手企業勤務を希望する受験生に対し、説得力のあるカリキュラムが可能となっている。

システム情報学科は、新たに「宇宙情報専攻」を設けて、宇宙開発や高度情報処理に興味のある受験生に広くアピールするカリキュラムとなっている。これは、高度なシステム開発を行うことのできる技術者が社会から広く求められており、その技術を持った者は少なく、高度情報処理技術者の育成が急務となっていることによるものである。

(医療情報学部)

医療情報学科は、既存の専攻を統合した「メディカルヘルスケア専攻」のほかに、「臨床工学専攻」を新たに設け、近年医療現場で必要とされている血液浄化業務、人工心肺業務、呼吸療法業務及び生命維持管理装置の保守点検・安全管理業務などの高度な知識・技術を持った「臨床工学技士」を養成する教育課程を整備した。特に、4年制大学の「臨床工学技士」要請に対する期待は大きくなっているところである。

(情報メディア学部)

情報メディア学科は、社会ニーズを的確に捉えたコース編成とカリキュラムで、高校生からの支持の厚い学科となっており、新たにデザインとテクノロジーの知識・技術を融合したメディアアート分野の養成として、メディアアートコースを設け、プロジェクションマッピングのような映像を活用したものや、モーションキャプチャなどを用いて鑑賞者が参加できる新しいタイプのアート作品などを生み出す技法を学ぶもので、人間の感覚の仕組みや必要な IT 技術を理解し、人々をワクワクさせるような作品を創造できる人材の育成を目指すものである。

上記の改革を資料にまとめ、高校訪問で進路指導部に伝え、今まで以上の信頼を勝ち取るとともに、生徒や保護者を対象とした「出前授業」や「模擬授業」を多くの高等学校で精力的に実施し、大学での学びについての情報を提供して本学への進学者増に繋げていくことを考えている。

また、本学ホームページにより改組改編の内容を分かりやすく解説し、各学科の教育に対する興味と関心が強くなる広報を展開し、入学定員の充足を図るものである。

以上が収容定員減に伴う学生確保のための基本的な内容である。

既存組織で定員超過率が 0.7 倍未満の通信教育部経営情報学部に係る学生の確保の見通し及び取組状況は、次のとおりである。

【通信教育部 経営情報学部】

① 学生の確保の見通し

通信教育部経営情報学部の正科生入学定員充足率は、各年度とも 3 割程度となっているが、過去 5 年間、安定した入学者数が維持されている(資料 2【過去 5 年間の入学生数】)。

また、正科生の入学者以外に、主に教育職員免許に必要な単位修得のための科目等履修生が毎年一定数入学している(資料 2【過去 5 年間の科目等履修生入学者数】)。この科目等履修生の人数を加算した入学者数は、入学定員に対し概ね 7 割前後となっており(資料 4【経営情報学部の過去 5 年間の正科生と科目等履修生の合計入学者数】)、教員に過大な負荷をかけることなく、生涯学習及び教育職員免許制度に関し一定の責任を果たしているものと考えている。

ア 定員充足の見込み

通信教育部経営情報学部では、前述のとおり、最近5年間はおおむね安定した学生確保ができており、今後も当分の間同様の学生確保が可能なものと考えている。特に、インターネットによる教育サービスは現在注目を得ており、今後もインターネットによる教育サービスを充実させることで、社会人学生の確保が可能と考えている。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

通信教育部経営情報学部では主に社会人学生確保のために、以下の取り組みを現在行っており、また今後行う予定である。

【カリキュラムの充実】

- ・社会の要望に応え、教職課程に新しい免許課程を開設した。
 - <平成21年度から教職高一種免（商業）の課程>
 - <平成23年度から教職高一種免（数学）の課程>
 - <平成27年度から教職中一種免（数学）の課程>
- ・社会人学生の多様な興味・嗜好に応えるため、毎年科目の改廃を行い、極力最新の話題を提供することとしている。
- ・平成29年度から学科別の特色をわかりやすく提示するために、カリキュラムの再編とナンバリングを行う予定としている。

【インターネット出願】

- ・平成26年度後期入学から、社会人学生のインターネット出願受付を開始し、社会人学生の入学機会を増やした。

【出願期間の延長】

- ・平成26年度から、出願時期に第2期を設定し出願期間を延長することで、社会人学生の入学機会を増やした。

【インターネット利用の促進】

- ・インターネットによる、「授業の提供」、「教材の提供」、「資料の提供」、「手続き窓口の提供」、「添削指導機会の提供」等、社会人学生が日時を選ばずに学習活動が可能なサービスの提供を毎年増やしている。

（2）人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育上の目的（概要）

本学の教育目的は次のとおり定めている。

【教育目的】

21世紀において、われわれを取り巻くすべての社会構造は今やIT抜きでは成り立ちません。

このような状況に鑑み、本学の教育では、明日の高度情報通信社会の担い手にふさわしい情報技術と知識、およびそれを支える幅広い教養と各種専門分野にまたがる知識の習得に裏打ちされた高度IT技術者を育成することを目標に掲げています。また、

国際情報化に適応できる国際性豊かな人材、情報に付加価値を生み出す幅広い教養、感受性、モラル、コミュニケーション能力を備えた人間力に優れた人材を育成することを目指しています。

- 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成する自己啓発教育
- IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識を身につける実践教育
- 国際感覚やモラルなど豊かな人間性を養う人格教育
- コミュニケーションとプレゼンテーション能力を涵養する自己表現啓発教育
- 自ら問題を見つけ出し、その解決のために自身で工夫できる問題発見・解決能力育成教育
- 知識のみではなく生きるための知恵を啓発する全人教育

上記の目的のもとに、各学科・専攻の教育・研究に係る理念・教育目標は次のとおりである。

■ 先端経営学科

先端経営学科 デジタルビジネス専攻の理念

21 世紀の企業は、ICT（情報通信技術）や IoT（モノのインターネット）を利用して、人間の行動や自然現象に関するデータを瞬時に収集・分析し、そこから経済的な価値を引き出して、企業の付加価値を高めるデジタルビジネスを展開している。企業を成長・発展させるためには、経営と ICT や IoT との関係を適切に捉えることが大切であり、本学科では、経営学と情報技術の基本的な原理及び知識を修得するとともに、それらを利用して企業や社会における問題を発見し、解決できる人材を育成する。

教育目標

本学の教育目的に準じ、各学年のゼミナールで学生の個性を引き出しながら、経営学と情報学との融合の観点から基本から発展までの知識を修得し、問題の発見・解決・提案に必要な能力を育成する。

- ① 経営学の基礎知識とビッグデータを活用する実践的な手法やスキルの修得を通して、デジタルビジネスの仕組みを学び、業務・組織の改革を推進できる人材の育成
- ② 地域ブランドづくり、地域振興プランづくり、商店街活性化の検討など、地域社会との連携を深め、地域に貢献できる人材の育成
- ③ 少人数による各学年のゼミ教育及び iPad 等の利用によって主体的に考えることができる人材の育成

■ システム情報学科

システム情報学科の理念

社会のすべての分野で ICT（情報通信技術）はコア・テクノロジーとして重要な位置付けになっており、ICT の普及により従来人が行っていた多くの仕事が機械化されるようになり、応用力、創造力、発想力などの問題発見・解決に必要な能力がより一層求められるようになってきている。本学科は情報科学の深い知識を修得するとともに、それらの知識

を応用してものごとを正しく分析し、新しいことを提案できる能力などを身に付けて、多種多様な応用分野でその中心を担い得る高度な情報システムエンジニアを育成する。

システム情報専攻の理念

ネットワーク、データベース、システム開発技術などに関する知識や技術を有し、企業、インターネット、スマートフォン向けなどの情報システムの開発に従事できる人材や人工知能、機械学習、データ解析などの知識を有し新しいビジネスを提案できる人材を育成する。

宇宙情報専攻の理念

宇宙開発や宇宙情報利用及びそこで必要な高品質、高信頼性ソフトウェアの開発に関する基礎的な知識や技術を有し、社会の様々な分野で必要とする高信頼性ソフトウェア・システムの開発に従事できる人材を育成する。

教育目標

本学の教育目的に準じ、情報科学、宇宙情報、システム開発に関する基本的な知識を修得させるとともに、ゼミナールや演習系の科目においては、それらを応用しながら、問題発見・解決に必要な能力を磨けるよう教育する。

- ① 情報科学、宇宙情報、システム開発に関する基本的な知識を修得する重要性を自覚させ、演習を繰り返すことでそれらの知識の定着を図る。
- ② 次のような能力やスキルを、ゼミナール、プロジェクト系科目などで育成する。
 - ・基本的な知識をもとに、問題を発見し、解決案を提案できる能力
 - ・情報技術を使って分析を行い、結論に至る過程を論理的に説明できる能力
 - ・自分の考えをわかりやすく人に伝える表現力
- ③ 学んだ知識を確認するために、資格取得を支援する。

■ 医療情報学科メディカルヘルスケア専攻

メディカルヘルスケア専攻の理念

生活習慣病の増加及び少子高齢化に伴い、医療の重要性がますます注目される我が国において、医療の崩壊を防ぎ、質の高い医療サービスを提供することは今後の医療を支える上で重要な課題である。そのためには、診療情報及び医療情報における技術開発、さらには健康と人間生活との関わりをより深く理解することが必要である。これらの課題を解決するために、当専攻では社会のニーズに合った教育プログラムを通して、専門性の高い医学・診療情報・医療情報・健康科学などの医療分野および高度な情報処理などの知識と情報技術の修得を目指す。更に、併設の健康情報科学研究センターや先端医療・健康情報教育センターによる実践的学習、病院での現場実習などを取り入れて、主体的な行動力・判断力・学習能力・思考能力を養う教育を実施する。本専攻では、幅広い診療情報・医療情報・健康情報に関する知識を実践し、医療と情報を共にマネジメントでき今後の医療業界をリードする高度な医療人材を育成する。

教育目標

メディカルヘルスケア専攻においては、医療環境の変革に対応し、また多岐に渡りつつある医療分野の教育に対処すべく2つの履修コース構成を構築し、次のような人材を養成します。

- ① 医療情報分野への強い興味と探求心を持つとともに、医療情報コミュニケーション技術
術を修得し、医療分野において貢献する意欲のある人
- ② 医療ネットワークや医療情報システムに精通し、医療を取り巻く環境や安全の改善
に意欲のある人
- ③ 医療や健康に関わる情報管理に精通し、食と健康と情報技術分野を自由に横断でき
る人

■ 医療情報学科臨床工学専攻

臨床工学専攻の理念

安全かつ高度な医療を継続して提供することは国民の健康維持及び増進にとって重要な課題である。そのためには、医療機器の開発と高度化は欠かせないが、同時にシステムの高度化、多様化が一段と進み、その運用、管理、安全に必要とされる知識と技術の修得が必須となっている。これらの課題を解決するために、本専攻では専門性の高い臨床工学・医学などの医療分野を学び、さらに本学独自の高度情報処理技術を修得し、医療安全に対する高い意識を持つ臨床工学技士の育成を目指します。さらに、医療の現場では専門的な知識のもと的確な判断と迅速な行動がなされるように主体的な行動力・的確な判断力・継続する学習能力・柔軟な思考能力を養う教育を実践し、今後の臨床工学分野をリードできる人材を育成する。

教育目標

臨床工学専攻においては臨床工学及び情報の修得を目標として、次のような人材を養成する。

- ① 豊かな人間性を備え、病者の痛みがわかる医療人
- ② 多種多様な医療機器の原理を理解し保守管理ができる人
- ③ 人体の機能構造を理解し、安全かつ効果的な医療機器の運用ができる人
- ④ 高度化・多様化する医療技術に対応できる基礎的知識と技術を有し、かつチーム医療の一員として円滑で効果的な医療を推進する意欲がある人
- ⑤ 医療情報技術を駆使し安全に病院内における医療機器管理ができる臨床工学技士

■ 情報メディア学科

情報メディア学科の理念

情報メディア学科は、映像、アニメ、3DCG、グラフィック、感性、ウェブ、ネットワークなどの分野で、新しい時代の中核となる技術を学ぶ。これらの技術をもとに、デザインとテクノロジーを融合したビジネスやデジタルコンテンツを創造し得る人材を育成する。

メディアデザイン専攻の理念

メディアデザイン専攻は、映像、アニメ、3DCG、グラフィック、ウェブ、感性などの分野や、それらを組み合わせたメディアアート分野について学びます。また、これらの技術の社会や文化及び倫理的な側面を理解し活用する力を育む。デザインと ICT 関連技術を核にしたテクノロジーとの融合に着目し、新しい時代のデジタルコンテンツを企画・創造し得る人材を育成する。

メディアテクノロジー専攻の理念

メディアテクノロジー専攻は、スマートフォン、インターネット、ヒューマンインタラクションなどのすべての物がインターネットにつながる時代の中核となる技術を学ぶ。これらの技術を発展させ、技術とデザインと融合した新しいデジタルビジネスを生み出し得る高度 IT 人材を育成する。

教育目標

- ① ICTを積極的に活用し、デジタルコンテンツを制作できる人材の育成
- ② ひとつの専門技術を持ち、多くの周辺技術を理解できる人材の育成
- ③ 発想力・企画力・計画力・実行力・評価力を備える人材の育成
- ④ 社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できる人材の育成
- ⑤ IoT(モノのインターネット)やゲームプログラミングの開発に従事できる人材の育成
- ⑥ ウェブアプリケーションやモバイルシステムを開発できる人材の育成
- ⑦ ネットワークの構築、運営、管理、セキュリティに代表されるインターネット基盤技術を修得した人材の育成

② 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本収容定員にかかわる届出は、大学全体の収容定員が減少するもので、かつ学科間の収容定員の振替が発生しないことから、社会的、地域的な人材需要の動向を説明するに際しては、当該学科におけるこれまでの就職状況等をもとに説明する。

当該学科における就職状況の推移は（資料 4-1）のとおりである。直近の平成 26 年度の状況をみても、先端経営学科及びシステム情報学科、情報メディア学科の就職率は、北海道地区大学全体の就職率である 69.6%を大きく上回っており、平成 25 年度以前も安定した就職実績を残している。

就職先については、本学の特徴である情報技術を活かした情報通信業への就職者が（資料 4-2）のとおり多数いる。一般社団法人北海道 IT 推進協会から発表された「北海道 IT レポート 2015」によると、道内 IT 産業の平成 26 年度売上高は 4,117 億円と、2 年連続で 4,000 億円台を維持し、平成 27 年度についてはさらに増加傾向を示し、4,227 億円を見込んでいる。

今回の定員変更の対応に加え、回復傾向にある経済情勢と雇用環境の改善傾向、情報通信業の市場拡大を鑑みると、卒業生の社会的、地域的な人材需要については、今後も高いことが予想される。

資料1 入学定員・入学者数・入学定員充足率

学部・学科・専攻	年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	区分					
経営情報学部 先端経営学科	入学定員	60	60	70	70	70
	志願者数	125	90	87	75	45
	入学者数	79	61	57	52	34
	充足率(%)	1.32	1.02	0.81	0.74	0.49
経営情報学部 システム情報学科	入学定員	90	90	110	110	110
	志願者数	158	166	152	116	118
	入学者数	108	115	109	79	80
	充足率(%)	1.20	1.28	0.99	0.72	0.73
医療情報学部 医療情報学科 ※平成 23、24 年度は経営情報 学部	入学定員	70	70	80	80	80
	志願者数	112	81	74	72	55
	入学者数	75	57	58	49	45
	充足率(%)	1.07	0.81	0.73	0.61	0.56
情報メディア学部 情報メディア学科	入学定員	160	160	190	190	190
	志願者数	320	256	284	252	300
	入学者数	200	192	205	188	236
	充足率(%)	1.25	1.20	1.08	0.99	1.24

資料2 【通信教育部経営情報学部の過去5年間の正科生入学者数】

(各年度4月1日入学と10月1日入学の合計値)

学科	区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
経営ネットワーク学科	入学定員	400	400	400	400	400
	入学者数	54	56	39	48	36
	充足率(%)	13.5%	14.0%	9.8%	12.0%	9.0%
システム情報学科	入学定員	800	800	800	800	800
	入学者数	346	320	370	361	371
	充足率(%)	43.3%	40.0%	46.3%	45.1%	46.4%
全 体	入学定員	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	入学者数	400	376	409	409	407
	充足率(%)	33.3%	31.3%	34.1%	34.1%	33.9%

資料3 【通信教育部経営情報学部の過去5年間の科目等履修生入学者数】

(各年度4月1日入学と10月1日入学の合計値)

学科	区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
科目等履修生	入学者数	518	505	423	378	440

【通信教育部経営情報学部の過去5年間の正科生と科目等履修生の合計入学者数】

(各年度4月1日入学と10月1日入学の合計値)

学科	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経営情報学部	入学定員	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
正科生	入学者数	400	376	409	409	407
科目等履修生	入学者数	518	505	423	378	440
入学者数合計	入学者数	918	881	831	787	847
入学定員に対する割合		76.5%	73.4%	69.3%	65.6%	70.6%

資料4-1 就職率の推移

- 経営情報学部 先端経営学科 成24年度以前は経営ネットワーク学科卒業生も含む
(就職率は小数第2位四捨五入)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
A 卒業者数	46人	50人	45人	62人	60人
B 就職者数	33人	40人	31人	47人	49人
C 就職率 (B÷A)	71.7%	80.0%	68.9%	75.8%	81.7%
D 北海道地区大学 全体の就職率	58.9%	62.3%	65.2%	68.1%	69.6%

- 経営情報学部 システム情報学科

(就職率は小数第2位四捨五入)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
A 卒業者数	66人	73人	77人	80人	80人
B 就職者数	44人	51人	57人	67人	72人
C 就職率 (B÷A)	66.7%	69.9%	74.0%	83.8%	90.0%
D 北海道地区大学 全体の就職率	58.9%	62.3%	65.2%	68.1%	69.6%

- 情報メディア学部 情報メディア学科

(就職率は小数第2位四捨五入)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
A 卒業者数	117人	124人	161人	168人	147人
B 就職者数	71人	70人	108人	130人	122人
C 就職率 (B÷A)	60.7%	56.5%	67.1%	77.4%	83.0%
D 北海道地区大学 全体の就職率	58.9%	62.3%	65.2%	68.1%	69.6%

資料 4-2 情報通信業への就職状況推移

※平成 24 年度以前は先端経営学科に経営ネットワーク学科卒業生も含む

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
経営情報学部 先端経営学科	3 人	5 人	3 人	6 人	4 人
経営情報学部 システム情報学科	22 人	25 人	24 人	40 人	47 人
情報メディア学部 情報メディア学科	28 人	31 人	58 人	61 人	60 人
合計	53 人	61 人	85 人	107 人	111 人